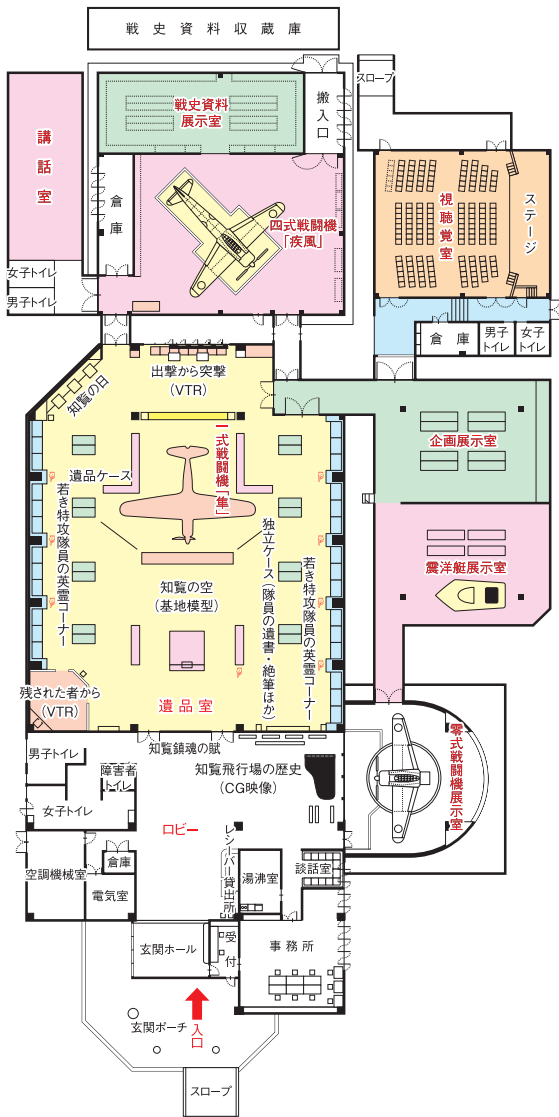


平面図



静かなたたずまいをみせる「知覧武家屋敷群」

徳川幕府の天下統一が一國一城を厳守させることにあったため、薩摩藩では鶴丸城を内城とし、領内に一三の外城を造り、防衛の役割を果たすことになったが、その中の一つが知覧であります。現在の区制は十八代知覧領主島津久峯公の時代に造られたもので今から二三〇年、二五〇年前のものであります。一〇余りの庭園と武家屋敷通りが広範囲の風致区域として保存されているところは、全国的にもまれでテレビなどでもたびたび紹介されています。

薩摩の武士といえば武骨一辺の田舎武士としてのイメージをもつが、このような一面があったのかと訪れる観光客をおどろかせています。武家屋敷群は国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、地区内にある七庭園が「名勝」に指定されています。また、武家屋敷群との調和のとれた町並みは古風で落ち着いたたたずまいの調和のとれた町並みは鯉が遊ぶなど訪れる人びとの心にやすらぎをあたえています。



日本の道100選顕彰

交通のご案内

南九州市知覧町から
鹿児島市まで34km
指宿市まで37km



会館のご案内

- 開館期間
1月1日から12月31日まで
ただし、都合により休館することがあります。
- 開館時間
午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで、又都合により開館時間を変更することがあります。
- 入館料
個人●大人500円 小人300円
団体●大人400円 小人240円
団体 (30人以上の団体及び修学旅行等1人につき) 小人とは、小・中学生のみです。
知覧特攻平和会館
ミュージアム知覧 共通券
個人●大人600円 小人400円

知覧特攻平和会館



どこしえに
み霊のどこしえに安らかならんことを祈りつつ
りりしい姿を永久に伝えたい心をこめて
ああ、開闢の南に消えた勇士よ



知覧特攻平和会館

鹿児島県南九州市知覧町郡17881
〒897-0302 TEL0993 (83) 2525 FAX0993 (83) 4859
ホームページ <http://www.chiran-tokkou.jp/>



世界恒久平和を願いながら…

この知覧特攻平和会館は、第二次世界大戦末期の沖縄戦で、人類史上類のない爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊員の遺影、遺品、記録等貴重な資料を収集・保存・展示して当時の真情を後世に正しく伝え世界恒久の平和に寄与するものです。

知覧は、昭和16年、大刀洗陸軍飛行学校知覧分教所が開校、少年飛行兵、学徒出陣の特別操縦見習士官らが操縦訓練を重ねていましたが戦況が緊迫し険悪となり遂に昭和20年本土最南端の陸軍特攻基地となり、20歳前後の若い隊員達が満州・日本内地から集結しては、家族・国の将来を思いながら出撃した地です。

沖縄戦で特攻戦死された1,036名の隊員は、知覧基地を主軸として万世・都城基地から、第8飛行師団は台湾各基地、義烈空挺隊は健軍（熊本）基地から出撃しています。

この地が特攻隊の出撃基地であったことから、沖縄戦の特攻作戦で戦死された隊員の当時の真の姿・遺品・記録を後世に残し、この史実を多くの方に知っていただき、特攻をとおして戦争のむなしさ、平和の大切さ・ありがたさ、命の尊さを訴え、後世に正しく語り継ぎ恒久の平和を祈念することが基地のあった住民の責務であろうと、特攻基地跡の一角に知覧特攻平和会館（昭和50年から昭和61年は知覧特攻遺品館）を建設しました。



はやて
陸軍四式戦闘機「疾風」(キ-84甲)



飛行帽

飛行時計

双眼鏡



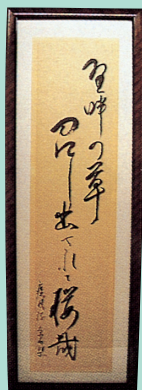
ハチマキ



レシーバー



人形



国を思い、父母を思い、
永遠の平和を願いながら
勇士たちは



●若き特攻隊員の英霊コーナー



●隊員の遺書・絶筆



●出撃から突撃（特攻勇士）



●戦史資料室



出撃前子犬と遊ぶ特攻隊の若桜
「提供：朝日新聞社」



寄せ書きを書く隊員



出撃前夜（うでずもう）



出撃20分前の腹ごしらえ



別れの盃



出撃を見送る女学生